

文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	群馬県	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 過去の補助事業実績			
平成 23 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業	—	千円	
平成 24 年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業	4,999	千円	
平成 25 年度文化遺産を活かした地域活性化事業	5,278	千円	
平成 26 年度文化遺産を活かした地域活性化事業	24,061	千円	
平成 27 年度文化遺産を活かした地域活性化事業	23,256	千円	
平成 28 年度文化遺産を活かした地域活性化事業	6,513	千円	
平成 29 年度文化遺産総合活用推進事業	7,120	千円	
平成 30 年度文化遺産総合活用推進事業	21,850	千円	
6 計画の実施状況（概要） ※平成30年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
平成 24 年度 1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成 （1）「ぐんま絹遺産」に関する総合的な普及啓発資料・映像作成 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） ぐんま絹遺産ガイドブック製作（20,000部）、ぐんま絹遺産紹介映像制作（第2回登録分）、ぐんま絹遺産ホームページ新規ページ制作 2. 地域の文化遺産普及啓発 （2）「ぐんま絹遺産」普及啓発モデルイベント開催 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） 講演・シンポジウム、スタディーバスツアー、俳句ラリー等（諏訪神社（藤岡市）、高山社跡、藤岡市周辺ぐんま絹遺産等）			
平成 25 年度 1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成 （1）「ぐんま絹遺産」に関する総合的な普及啓発資料・映像作成 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） ぐんま絹遺産ガイドブック製作（30,000部）、ぐんま絹遺産紹介映像制作（第3回登録分） 2. 地域の文化遺産普及啓発 （2）「ぐんま絹遺産」普及啓発モデルイベント開催 （シルクカントリーぐんま連絡協議会） 講演・シンポジウム、スタディーバスツアー、絵手紙教室等（群馬県庁（前橋市）、「富岡製糸場と絹産業遺産群」と周辺ぐんま絹遺産等）			
平成 26 年度 1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成 （1）「ぐんま絹遺産」に関する総合的な普及啓発資料・映像作成 （群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会） ぐんま絹遺産ガイドブック製作（40,000部製作）、ぐんま絹遺産紹介映像制作（第4回登録分制作） 2. 地域の文化遺産普及啓発 （2）「ぐんま絹遺産」普及啓発モデルイベント開催 （シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会） 講演・シンポジウム、絹の国のお宝特別展等（富岡製糸場等） （3）世界遺産を舞台にした群馬伝統芸能祭開催 （世界遺産を活かした群馬文化遺産発信実行委員会） 県内の絹産業ゆかりの伝統芸能や代表的な伝統芸能等の上演（富岡市、伊勢崎市）			

平成27年度

1. 世界文化遺産情報発信、人材育成

(1) 「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関する総合的な普及啓発資料作成
(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

世界遺産ブックレット外国語版製作（中繁体10,000部・中簡体13,000部・仏10,000部・伊10,000部製作）、世界遺産ポスター外国語版製作（英700部・中繁体200部・中簡体200部・仏200部・伊200部製作）

(2) 「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関するガイド・解説員スキルアップ研修
(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

県内ガイド・解説員団体等構成員への講習

2. 世界文化遺産普及啓発

(1) 世界遺産物語

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

「世界遺産物語」見学先等公開・解説実施、モニターツアー「世界遺産物語」実施（4コース）

(2) 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」展

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」展開催（群馬県庁（前橋市）、イオンモール高崎（高崎市））

(3) アジア産業遺産シンポジウム

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

「富岡製糸場と絹産業遺産群」とアジアの産業遺産をテーマにした国際シンポジウム開催（富岡製糸場）

(4) 絹の国サミット

(シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会)

作文・論文公募、表彰兼発表会、県外地域事例発表、パネルディスカッション、県外事例・県内関連地域PRブース設置等（富岡製糸場）

3. 世界文化遺産調査研究

(1) 「富岡製糸場と絹産業遺産群」調査研究

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の技術伝播に関する国内調査、絹産業・絹遺産等に関する記憶の資料化

平成28年度

2. 世界文化遺産普及啓発

(1) 絹の国サミット

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

絹の詩公募、表彰兼発表会、講演、パネルディスカッション、高山社跡に関連する資料等の展示、関連地域PRブース（高山社跡（藤岡市））

(2) 世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」価値PR活動

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を紹介するパネル作成及び構成4資産の価値を総合的に紹介する「富岡製糸場と絹産業遺産群」展を開催（富岡製糸場 2回）

平成29年度

1. 世界文化遺産普及啓発

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

(1) シルク博

シンポジウム、講演会、絹の詩「おかいこさん」公募動画の表彰兼発表会、田島弥平旧宅上段の間公開、養蚕農家群散策ツアー、関連地域PRブース（田島弥平旧宅、境赤煉瓦倉庫（伊勢崎市））

(2) 世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」企画展開催

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成4資産の価値を総合的に紹介し、その価値の基礎となる絹産業等を紹介する企画展を開催（富岡製糸場2回）

2. 人材育成

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

(1) ガイド・解説員レベルアップ研修

県内のガイド・解説員団体等を対象とした構成資産の総合的な講習及び技能向上のための講習

平成30年度

1. 世界文化遺産情報発信

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

(1) 世界遺産センターガイドダンスVR映像制作

群馬県が整備を進める「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産センター（仮称）の映像シアターで上映する「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値、構成4資産相互の連携やその価値の基礎となっている絹産業等を紹介するガイドダンス映像を制作

2. 世界文化遺産普及啓発

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

(1) シルク博

基調講演会、パネルディスカッション、高校生による荒船風穴についての研究成果発表、絹の歌「おかいこさん」披露、荒船風穴体感・解説ツアー、関連地域PRブース（荒船風穴（下仁田町））、構成市町PRブース、世界遺産パネル展示解説、明治時代コーナー

3. 人材育成

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

(1) ガイド・解説員レベルアップ研修

県内のガイド・解説員団体等を対象とした世界遺産構成4資産の総合的な講習及び技能向上のための講習

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況

※平成30年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。

別紙①②のとおり

8 事業実施による効果等

※平成30年度までの計画の実施により得られた効果や実施以後の状況（人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果）を具体的に記載してください。

1. 地域の文化遺産情報発信、人材育成

・ぐんま絹遺産ガイドブックについては平成24～26年度に作成した計100,000部を県内外各地のイベント会場や施設等で配布した。映像については平成24～27年度に県内各地のイベント会場や施設等で上映したとともに、解説ガイド等の養成教材としても活用した。今後も引き続き有効に使用する。

・積極的な情報発信により、「ぐんま絹遺産」の登録件数は平成23年度の58件から、31年3月現在で100件まで増加した。今後も県内各地に多く登録している絹遺産を周遊してもらうため、引き続き積極的な情報発信が必要である。

・積極的な情報発信により、「ぐんま絹遺産」への来場者は増加しており、例えば富岡製糸場来場者数は平成23年度約23万1千人から29年度約63万7千人へと増加し、高山社跡では平成23年度約2千人から29年度約1万9千人へと増加した。

2. 地域の文化遺産普及啓発

・平成24年度から26年度に、藤岡市周辺、群馬県庁周辺、富岡市周辺、伊勢崎市周辺において世界遺産登録やぐんま絹遺産等をテーマにしたモデルイベントや、ぐんま絹遺産を含む絹産業ゆかりの伝統芸能等の上演を実施した。

・ぐんま絹遺産を活かしたモデルイベントや伝統芸能上演の成功により、地元新聞に合計で全2面～5面程度の特集記事が毎回掲載され、認知度が向上するとともに、同一イベントにあわせて地元自治体や地域団体等による自主的なイベント等が実施された。開催後も「ぐんま絹遺産」を紹介する取り組みが行われるなど、活用が促進されている。

・ぐんま絹遺産を活かしたモデルイベントや伝統芸能上演の実施に参画した地域団体が協働したことで相互の連携が強化され、例えば県域で世界遺産やぐんま絹遺産の普及啓発に取り組む「富岡製糸場世界遺産伝道師協会」では、年間の活動延べ日数が平成23年度に199回であったものが、平成29年度に234回へと増加し、平成30年度は209回と幅広い活動を続けている。

3. 世界文化遺産情報発信、人材育成

・平成27年度に、外国語版のブックレットやポスターを製作し、イタリアのミラノ万博や中国、シンガポール等の海外のイベントへの活用や、在外公館、各地の国際交流協会等を通じた効果的な配布に取り組んだ。

・世界遺産センターガイドダンスVR映像を制作したことで、群馬県が整備を進める世界遺産センターの顔となる展示をつくることができた。映像は、世界遺産センターがオープンした際には、常設シアターで上映する（24回/日程度を予定）。また、周年事業等の啓発イベントでも上映する。

・高精細CGを使って当時の資産を復元することにより、実際の建物を復元するよりも安価かつ短期間に復元作業を行うことができ、今後調査研究の進展に伴い新たな知見が得られた場合の修正も容易である。また、復元したデータを残すことにより、資産の保護、後世に伝えるということにも資することができた。

・世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関するガイド・解説員レベルアップ研修を実施し、ガイドスキルの向上や構成資産の最新情報等の講習を実施した。受講者は、講習内容を活かした構成資産のガイド解説を実施し、来場者の正しい理解、満足度の向上につながった。

・平成31年度以降も引き続き、より一層積極的な情報発信に加えて、効果的な情報発信、来場者の満足度向上を戦略的に模索していくことが必要である。

4. 世界文化遺産普及啓発

・平成27、28年度に「絹の国サミット」と題して「富岡製糸場と絹産業遺産群」と関連の深い県外地域の事例発表とパネルディスカッション等を行い、世界の中での価値と、それを支える日本国内での価値の両面について理解を深める大きな契機とした。特に、28年度は、構成資産「高山社跡」にスポットを当て、高山社が各地の養蚕振興に果たした役割や、高山長五郎の精神などについて、理解を深めた。また、養蚕・製糸・織物の絹に関係する「絹の詩」の作品を小学校・中学校・高校・大学・一般から公募し、その優秀作品の表彰式を「絹の国サミット」で行い、「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする絹文化が地域に根づいていることを認識する契機とした。

・平成28年度に「富岡製糸場と絹産業遺産群」価値PR活動として、価値を紹介するパネル作成、構成4資産の価値を総合的に紹介する企画展を開催した。

・「富岡製糸場と絹産業遺産群」展を富岡製糸場東置繭所で実施したことにより、全国各地から富岡製糸場に来場する方に対し、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値や富岡製糸場以外の3資産の紹介をすることができた。群馬県外からの来場者は、富岡製糸場以外の3資産を知らなかったり、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値を正しく理解していなかったりする方も多く、正しい情報発信を行うことができた。また、来場者が他の3資産を訪問する機会を与えることができた。

・価値PR資材のパネルを作成し、主に次のとおり活用した。

- ①来庁者が見込まれる群馬県地域機関5箇所での長期展示
- ②世界遺産構成4資産の地元市町へ貸出、構成資産等での長期展示等
- ③2月に構成資産の富岡製糸場で19日間企画展を開催し、パネルを展示した。
- ④子ども向けの学校キャラバンで使用
- ⑤集客施設等でのイベントに活用

・平成29年度は、「シルク博」の開催により、県民や関係者等が全国的な視点で世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を考えることができるとともに、考え方を時間軸から空間軸へ広げていこうとする意識の向上を図ることができた。田島弥平旧宅に焦点をあて、蚕種生産の地・島村が残した功績などについて、理解を深めるとともに、先人の功績や建物を未来へどう継承していくかを探った。また、養蚕・製糸・織物の絹に関係する「絹の詩」の作品を小学校・中学校・高校・大学・一般から公募し、その「大賞」となった曲「おかいこさん」を自由なアレンジで歌う動画を一般から公募し、その入賞作品の表彰式を「シルク博」で行い、「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする絹文化が地域に根づいていることを認識することができた。

・平成29年度は前年の企画展から実物展示や新たな切り口で4資産のつながりをしめる展示を行うとともに4資産が県内に与えた影響について紹介し、世界遺産の価値等の情報発信を行うことができた。

・平成30年度は、荒船風穴にスポットを当てた「シルク博」の開催により、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を考えることができるとともに、地域活性化に役立て、地域振興を広げていこうとする意識の向上を図ることができた。また、地元高校生がガイドボランティアとして風穴の魅力を発信するとともに、ガイドをするための研究発表、大昔から吹く冷風の歴史を未来へつないでいこうとの思いを込めたオリジナルテーマソングの披露など、次代を担う若い世代の活動を通してより多くの方に関心を持ってもらうきっかけとなった。

5. 世界文化遺産調査研究

(シルクカントリーぐんま連絡協議会)

- ・平成27年度に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の調査研究を実施したことにより、富岡製糸場の操業時の様子や富岡製糸場に関わった人々の活動が明らかになったほか、田島弥平の老家である田島武平家に残る養蚕に関する資料を整理したことで、田島弥平旧宅を含む島村地区における養蚕製造の全体像を把握するための足がかりを作ることができた。
- ・絹産業は、年々産業の規模が縮小しているため、何もしなければ記録もなくなってしまう。今後も調査研究により過去の状況などを明らかにする必要がある。

6. その他定量的な指標・効果

- 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成4資産への来場者数
平成25年度 340,342人 → 平成30年度 567,984人
- 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」ホームページアクセス数
平成30年度 108,997件
平成29年度 146,321件
平成28年度 128,096件
- ぐんま絹遺産の認知度（群馬県 平成30年度県政県民意識アンケート結果）
ぐんま絹遺産を聞いたことがある人 80.8%

9 得られた効果の検証・分析

・普及啓発事業では29年度に田島弥平旧宅（伊勢崎市）で、30年度は荒船風穴（下仁田町）で開催したことにより、それぞれ前年度を上回る来場者数であったことから、多くの方に参加いただく機会を設け、世界遺産の価値を知っていただくには効果的であると考えます。

・しかしながら、資産の来訪者数は減少傾向にあることから、世界遺産登録5周年を機に、再度興味関心を持ってもらうための事業を行う必要があると考えます。

・アンケート結果からは、子供や若い人たちが参加しやすい内容を希望される声などが多かったため、31年度は「次世代につなぐ世界遺産」をテーマに事業実施の組み立てを検討していきたい。

・文化財保護団体、地元市町村、民間企業など多くの関係機関や団体が参加し連携が強化されその後の自主的な事業等が実施され、また世界遺産や地域の文化遺産を紹介する取り組みが行われるなど活用が促進されている。

・情報発信や人材育成事業を通して、地域団体相互の連携が強化され、伝道師協会では年間活動日数が増加し、活動の幅を広げている。世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の魅力発信を推進し、理解度向上につながっている。

・今後も引き続き、よりいっそう積極的な情報発信に加えて、効果的な情報発信、来場者の満足度向上を戦略的に模索していく必要がある。

・また、引き続き、大きな視点から考える取り組みを通じた理解促進の取り組みや、価値を活字ではなく直接語りかけることができるPR活動や解説付きの展示イベント等の幅を広げていくことが必要である。このような様々な取り組みを通じて世界遺産を含むぐんま絹遺産の認知度も向上している(78.3%→80.8%)ことから、継続的に推進していくことが大切である。

・自主事業として世界遺産を含むぐんま絹遺産の理解を深めてもらうためのアプリを公開し、HPへ誘導し更に詳細を理解いただけるような取り組みや、31年度は5周年記念として、アプリを活用した世界遺産だけでなく地域の観光スポットや食などを合わせたスタンプラリーを開催し、周遊促進を図り地域活性化につなげていきたい。

・世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等の価値や魅力を総合的に紹介する展示及びボランティア団体による解説等を行う世界遺産センター整備に向けて様々な分析等をふまえて具体的な検討などを進めている。

10 総括評価結果

※実施計画期間終了の翌年度における総括評価の結果を定量的・定性的な側面から具体的に記載してください。

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	「富岡製糸場と絹産業遺産群」構成 4 資産及び世界遺産センターの来場者数				関連事業 :	①, ③, ④, ⑤, ⑥	
目標値 1 :	平成 28 年度		851,312 (単位)		⇒	平成 33 年度 1,101,000 (単位)	
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
683,725 人	567,984 人						
-67%	-113%						
具体的な指標 2 :	「富岡製糸場と絹産業遺産群」ホームページビュー数				関連事業 :	①, ③, ④, ⑤, ⑥	
目標値 2 :	平成 28 年度		128,096 件		⇒	平成 33 年度 153,000 件	
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
146,321 件	108,997 件						
73%	-77%						
具体的な指標 3 :	構成資産全体の解説・普及を行う民間団体（富岡製糸場世界遺産伝道師協会）の年間活動日数				関連事業 :	②, ③, ④, ⑥	
目標値 3 :	平成 28 年度		220 回		⇒	平成 33 年度 270 回	
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
234 回	209 回						
28%	-22%						

※ 指標の設定状況に応じて、適宜追加・削除してご使用ください。

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙（関連事業）

事業①：	世界遺産センターVR映像制作				実施団体：	シルクカントリーぐんま連絡協議会	
事業区分：	情報発信				事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	群馬県が整備を進める「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産センター（仮称）で上映する「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産としての価値、構成4資産相互の連携やその価値の基礎となっている絹産業等を紹介するVRを活用したガイド映像を制作する。 映像制作にあたり、現状の現地保存の観点から各4資産の特徴となる部分を調査し、写真、動画を高精細CGで合成しデジタル化し、VR映像として活用する。						
具体的な指標：	「世界遺産センター」シアター利用者数						
目標値：	平成 28 年度		0 人		⇒	平成 33 年度 150,000 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
0 人	0 人						
0%	0%						
事業②：	ガイド・解説員研修会				実施団体：	シルクカントリーぐんま連絡協議会	
事業区分：	人材育成				事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 30 年度	
事業概要：	県内のガイド・解説員団体等の方を対象に、世界遺産構成4資産についての総合的な講習及び解説・ガイドの技能向上のための講習を実施し、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を総合的に説明できるガイド・解説員を養成するとともに、そのレベルアップを図る。平成29年度に実施した研修をブラッシュアップし実施するとともに世界遺産センターで解説を行う解説員の育成も行う。						
具体的な指標：	構成資産全体の解説・普及を行う民間団体（富岡製糸場世界遺産伝道師協会）の年間活動日数						
目標値：	平成 27 年度		218 回		⇒	平成 33 年度 270 回	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
234 回	209 回						
31%	-17%						
事業③：	シルク博				実施団体：	シルクカントリーぐんま連絡協議会	
事業区分：	普及啓発				事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度	
事業概要：	「富岡製糸場と絹産業遺産群」が影響を与えた県外地域や絹産業による地域活性化に取り組む地域との交流を通じて、県外地域および県内の方に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値のさらなる普及を図るとともに、地域活性化の契機とする。なお、本事業は、明治150年関連として実施したい。 平成31年度が世界遺産登録5周年に当たるため、29年度、30年度は5周年に向けた序章とし、31年度に5周年記念として盛大に開催する。32年度、33年度はそれまでの事業の成果を検証し、さらにブラッシュアップして実施する。なお、32年度は、東京オリンピックと関連させることを検討する。						
具体的な指標：	「富岡製糸場と絹産業遺産群」構成4資産及び世界遺産センターの来場者数						
目標値：	平成 28 年度		851,312 人		⇒	平成 33 年度 1,101,000 人	
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度		
683,725 人	567,984 人						
-67%	-113%						

事業④：	「富岡製糸場と絹産業遺産群」企画展					実施団体：	シルクカントリーぐんま連絡協議会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 29 年度				
事業概要：	「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値をより多くの方に正しい理解をしてもらうため、富岡製糸場で構成4資産やその価値の基礎となっている養蚕・製糸・織物の絹産業等を紹介する企画展を開催する。企画展では、構成4資産や絹産業等を総合的に紹介するパネル、養蚕製糸の実物や来場者が手に触れるものなどを展示する。										
具体的な指標：	「富岡製糸場と絹産業遺産群」構成4資産及び世界遺産センターの来場者数										
目標値：	平成 28 年度		851,312 人			⇒	平成 33 年度		1,101,000 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
683,725 人	567,984 人	人	人	人	人						
-67%	-113%										
事業⑤：	世界遺産センター来場者配付用パンフレット制作					実施団体：	シルクカントリーぐんま連絡協議会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 31 年度				
事業概要：	群馬県が整備し、平成30年度末頃オープン予定の世界遺産センターの来場者に配付するパンフレットを制作する。										
具体的な指標：	世界遺産センター来場者数										
目標値：	平成 28 年度		0 人			⇒	平成 33 年度		200,000 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
0 人	0 人	人	人	人	人						
0%	0%										
事業⑥：	世界遺産登録5周年記念事業					実施団体：	シルクカントリーぐんま連絡協議会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 31 年度				
事業概要：	「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録5周年を記念し、世界遺産登録の喜びを県民と改めて分かち合うとともに、県内外にその価値を改めて普及啓発し、後世へ引き継ぐ契機とする。										
具体的な指標：	「富岡製糸場と絹産業遺産群」構成4資産及び世界遺産センターの来場者数										
目標値：	平成 28 年度		851,312 人			⇒	平成 33 年度		1,101,000 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度						
683,725 人	567,984 人	人	人	人	人						
-67%	-113%										